7-③ 他人との摩擦を避ける方法

<他人との摩擦を避ける方法>

ー己れを知ることだ

人は見かけとは違う。家屋の内側と外側とは違うように、人の外見と内面とはたいへんな差がある。誰かに初めて会うという場合、あなたはそれを経験する。あなたが彼をこんな人と思っているのとは、彼がまったく違う人

間違いはわれわれ自身の誤った思い込みなのである。たとえばわれわれがある人を冷静なタイプだと思いと部。ことで二つの過まちを犯している。まず、彼が他人の前でー所感命にその情動の乱れを抑えていることをわれわ

われわれの務めは人々を、われわれがそうと見たい、そう見なければならぬようにではなく、彼らのあるがままを見るということだ。そうすればけっして過まちは犯さなくなる。

どうすればこれができるか? 他の人々は、心理的に言ってではあるが、われわれには見えない存在なのである。ではどうすればわれわれは彼らをその在るがままに見ることができるのか?

それは、われわれ自身を理解することで、できる。あなた自身の動機を率直に理解すれば、あなたは彼らの動機が見える。あなた自身の願望と行動とを理解すれば、他の人々がなぜあんなことをしているかが、あなたには理

これは二様に働く。あなた自身を理解するように、他の人々をも理解する。あなた自身の行為への洞察を獲得すると共に、他人の行動もあなたにははっきり分ってくる。

社会に生きるあなたに起ってくる出来事はなんであれ、それが、あなた自身を照らし出し、浮きぼりにしてくれるという意味では、きわめて有意義である。他の人々との出会いは、われわれの固定観念への願ってもないチャ

視の鉄鎖の粉砕だからだ。

われわれが自己観察をつうじてわれわれの本性を知ると同じく、われわれは他人を彼の日々の行動のなかで見守ることによってその人について知ることができる。たんなる好奇心や批判的観点からではなく、人間についての

たとえば、ある人が、なにかについて責められたとき、どう反応するかを見守れ。この非難が正確であろうとなかろうと、それがその人の心の中に怒り、憤怒、あるいは仕返しの想念を誘起するのを注視せよ。エゴの少ない

アルトゥア・ショーペンハウエルはもうひとつテスト法を教えてくれているー

人というものは、ごく些細なことを扱うときに、ついその格を暴露するものだ。そんな場合には醤戒心がないからだ。このととは、人間の人格にある底知れぬエゴイズム、他の人々にはひとかけらの思いやりもないところを

Revision #2
Created 1 November 2024 02:11:38 by ゆう
Updated 1 November 2024 02:13:38 by ゆう